

国語「古文」 第4章. 連体形接続の助動詞①

次の問いに答えなさい。(活用は1問15点、意味は1問20点)

1 なり

基本形	なり
活用の型	形容動詞型
未然形	?
連用形	なり に
終止形	なり
連体形	なる
已然形	?
命令形	なれ

【活用】左の活用表を見て、答えなさい。

(1) 未然形は？

()

(2) 已然形は？

()

【意味】

(3) 次の文中の、助動詞「なり」の現代語訳に丸を付けなさい。

<古文>
この国になきものなり
<現代文>
この国に●

ないものがよい
ないものである
ないようなものだ
ないものだろう

2 たり

基本形	たり
活用の型	形容動詞型
未然形	?
連用形	たり と
終止形	たり
連体形	たる
已然形	?
命令形	たれ

【活用】左の活用表を見て、答えなさい。

(4) 未然形は？

()

(5) 已然形は？

()

【意味】

(6) 次の文中の、助動詞「たり」の現代語訳に丸を付けなさい。

<古文>
清盛公いまだ安芸守たりし時
<現代文>
清盛公がまだ●とき

安芸守だろう
安芸守になりたかった
安芸守であった
安芸守らしかった



【アプリ版のご紹介】中高生の古文

古文の単語・文法アプリの決定版！単語編では、最頻出の272単語を、「朝廷・貴族」「尊敬語」などの記憶に残りやすいカテゴリに分けて出題。文法編では、用言と助動詞の活用・接続・意味を徹底学習します。



【他アプリからオマケの一題】

中高生の漢文

次の白文の、下線部の読み方は？ 過猶不及
(A) いはば (B) なほ (C) まさに (D) ほぼ